

環境・社会・ガバナンス 環境データ集

[エネルギー購入量](#) / [温室効果ガス排出量](#) / [排出量取引](#) / [再生可能エネルギーの取り組み](#) /
[廃棄物発生量/埋立量推移](#) / [水資源](#) / [PRTR 対象物質 取扱量/排出量推移](#) / [VOC 取扱量/排出量推移](#)

集計範囲：全社に対して 95.2%に相当（拠点カバー率）
太字の数値は第三者審査による検証済（[第三者検証報告書](#)）

エネルギー購入量

エネルギー購入量実績推移

注意：四捨五入表示のため、単純合計の端数が合わない場合があります

種別	単位	実績（年度）				
		2018	2019	2020	2021	2022
国内系統電力購入量(償却後)	GWh	235.376	234.844	247.216	277.876	272.843
国内サイト内太陽光発電購入量（PPA）	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
国内グリーン電力購入量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	7.204
国内再エネ証書償却量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
海外系統電力購入量(償却後)	GWh	206.664	194.063	195.829	137.458	120.610
海外サイト内太陽光発電購入量（PPA）	GWh	0.228	1.309	1.730	3.304	3.288
海外グリーン電力購入量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	3.878
海外再エネ証書償却量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	9.238
合計系統電力購入量(償却後)	GWh	442.040	428.907	443.044	415.334	393.453
合計サイト内太陽光発電購入量（PPA）	GWh	0.228	1.309	1.730	3.304	3.288
合計グリーン電力購入量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	11.082
合計再エネ証書償却量	GWh	0.000	0.000	0.000	0.000	9.238
国内燃料購入量	TJ	2,005.359	1,933.460	1,845.059	1,822.379	1,949.111
	(GWh)	557.044	537.072	512.516	506.216	541.420
海外燃料購入量	TJ	148.428	121.560	128.561	111.763	78.900
	(GWh)	41.230	33.767	35.711	31.045	21.917
合計燃料購入量	TJ	2,153.787	2,055.020	1,973.620	1,934.142	2,028.011
	(GWh)	598.274	570.839	548.228	537.262	563.336
合計	GWh	1,040.542	1,001.056	993.002	955.899	980.398

1. 系統電力購入量(償却後):系統電力購入量から再エネ証書償却量を控除しています。
2. 集計範囲:国内海外全生産拠点
3. カバレッジの変更:2021、2022年度に一時的にインドとフランス拠点集計を除外した(約0.3%)
理由:集計データの客観性や網羅性の確認に問題があると判断しました。2023年度実績から集計を開始しています。
4. 当社は、熱の購入は有りません。
注)燃料購入量は、燃料の燃焼熱量(HHV)で集計。また、1GWh=3600GJ=3.6TJで換算。
5. 最終行の合計には、再エネ発電電力購入量を含むが、自発電力(非再エネ、再エネ)電力量は含まない。

2022年度燃料購入量内訳

	単位	国内	海外	合計	単位	国内	海外	合計
ガソリン	kL	92.911	49.400	142.311	GWh	0.893	0.475	1.368
灯油	kL	324.022	0.000	324.022	GWh	3.303	0.000	3.303
軽油	kL	53.087	85.730	138.817	GWh	0.556	0.898	1.454
重油	kL	352.016	12.000	364.016	GWh	3.823	0.130	3.954
LPG (液化石油ガス)	t	321.150	71.328	392.477	GWh	4.532	1.007	5.538
LNG (液化天然ガス)	t	3,288.500	0.000	3,288.500	GWh	49.876	0.000	49.876
都市ガス (熱量換算※)	千 m ³	38,274.963	1,552.580	39,827.54	GWh	478.437	19.407	497.844
					合計 (GWh)	541.420	21.917	563.336

※ 供給会社毎に体積当たりの発熱量や供給管毎に圧力が違うので、0℃1気圧の千m³当たり45GJのガス量に換算しています。

自家用発電電力量実績推移

単位:GWh

種別		実績(年度)				
		2018	2019	2020	2021	2022
非再エネ	国内自家発電電量	141.579	140.512	133.232	125.387	138.601
	海外自家発電電量	0.050	0.289	0.113	0.079	0.064
	合計発電電量	141.629	140.802	133.345	125.466	138.665
再エネ	国内自家発電電量	0.487	0.539	0.592	0.621	0.619
	海外自家発電電量	0.672	2.113	1.575	1.609	1.739
	合計発電電量	1.158	2.652	2.167	2.230	2.358

温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量推移

単位：千 t-CO₂e

種別	実績（年度）					目標（年度）	
	2018	2019 (新基準年)	2020	2021	2022	2030 ▲46%	2050 ▲100%
国内 CO ₂	219.3	207.2	203.7	213.7	216.8		
国内 CO ₂ 以外の GHG	74.6	59.7	53.6	54.1	35.1		
国内総 GHG	293.9	266.9	257.2	267.8	252.0		
海外 CO ₂	138.0	128.8	131.7	93.2	80.1		
海外 CO ₂ 以外の GHG	88.9	55.8	48.0	3.0	2.2		
海外総 GHG	226.9	184.6	179.7	96.2	82.3		
国内海外合計 CO ₂	357.3	336.0	335.4	306.9	296.9		
国内海外合計 CO ₂ 以外の GHG	163.5	115.5	101.6	57.1	37.4		
国内海外合計 総 GHG	520.8	451.5	437.0	364.0	334.2	243.8	0.0
(同 売上高原単位 (t-CO ₂ e/億円)	56.92	50.13	49.89	39.99	33.11	(想定： 21.37)	

温室効果ガス排出量を

直接排出（スコープ 1）：燃料の燃焼に伴う CO₂ と CO₂ 以外 GHG 排出、

間接排出（スコープ 2）：電力使用に伴う CO₂ で再分類

	実績（年度）					目標（年度）	
	2018	2019 (新基準年)	2020	2021	2022	2030 ▲46%	2050 ▲100%
国内 スコープ 1（直接排出）	177.2	158.1	147.5	145.8	133.0		
国内 スコープ 2（間接排出）	116.7	108.7	109.8	122.0	119.0		
海外 スコープ 1（直接排出）	96.6	62.2	54.7	8.7	6.3		
海外 スコープ 2（間接排出）	130.3	122.4	125.0	87.5	76.0		
国内海外合計 スコープ 1	273.8	220.3	202.2	154.5	139.3		
国内海外合計 スコープ 2	247.0	231.1	234.8	209.5	194.9		
合計 スコープ 1+2（総排出） (上記国内海外合計 総 GHG と同じ)	520.8	451.5	437.0	364.0	334.2	243.8	0

- 集計範囲：国内海外全生産拠点
- カバレッジの変更：2021 年度、2022 年度に一時的にインドとフランス拠点集計を除外した（約 0.3%）
理由：集計データの客観性や網羅性の確認に問題があると判断しました。2023 年度実績から集計を開始しています。
- 電力係数：購入電力 1kWh 当たりの発電所で間接的に排出する CO₂ 排出量
国内 出典 電気事業低炭素社会協議会 日本の平均電力係数係数（調整後の値：確定値）：2022 年度は 0.436kg-CO₂e/kWh を使用
海外 出典 IEA（2022）Emission Factors より、国別の平均電力係数最新値：2022 年度は 2020 年値を使用

スコープ 1 の内訳

単位：千 t-CO₂e

	排出 ガス種	実績（年度）					主な用途
		2018	2019	2020	2021	2022	
国内 スコープ 1	CO ₂	102.5	98.5	93.9	91.7	97.9	コジェネ発電、ボイラー、乾燥炉、構内自動車、暖房
	HFCs	2.8	3.5	1.4	1.5	2.3	冷媒・発砲剤、半導体のエッチング原料※
	PFCs	45.5	33.7	31.4	33.4	22.7	半導体のエッチング原料※
	SF ₆	25.8	22.1	20.1	18.6	9.8	半導体のエッチング原料※、絶縁ガス
	NF ₃	0.6	0.4	0.7	0.6	0.5	半導体のエッチング原料※
	合計	177.2	158.1	147.5	145.8	133.0	
海外 スコープ 1	CO ₂	7.7	6.3	6.7	5.7	4.1	ボイラー、構内自動車、乾燥炉、非常用発電機
	HFCs	58.6	42.5	46.6	1.4	0.1	半導体エッチング原料※、冷媒（溶媒の使用終了）
	PFCs	1.0	0.9	1.0	1.2	1.3	半導体のエッチング原料※
	SF ₆	29.2	12.4	0.5	0.4	0.8	半導体のエッチング原料※、絶縁ガス
	NF ₃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	半導体のエッチング原料※
	合計	96.6	62.2	54.7	8.7	6.3	
国内海外 スコープ 1 合計	CO ₂	110.2	104.8	100.6	97.4	101.9	コジェネ発電、ボイラー、乾燥炉、構内自動車、暖房
	HFCs	61.4	46.0	47.9	2.9	2.3	冷媒・発砲剤、半導体のエッチング原料※
	PFCs	46.5	34.6	32.4	34.6	24.0	半導体のエッチング原料※
	SF ₆	55.0	34.5	20.5	19.0	10.6	半導体のエッチング原料※、絶縁ガス
	NF ₃	0.6	0.4	0.7	0.6	0.5	半導体のエッチング原料※
	合計	273.8	220.3	202.2	154.5	139.3	

※の「半導体のエッチング原料」は、半導体エッチング工程の使用に加え、半導体製造装置内のチャンバークリーニング工程でも使用しています。

1. 集計範囲：国内海外全生産拠点
2. カバレッジの変更：2021年度、2022年度に一時的にインドとフランス拠点集計を除外した（約0.3%）
理由：集計データの客観性や網羅性の確認に問題があると判断しました。2023年度実績から集計を開始しています。
3. 温室効果係数（GWP）：COP24 国際合意に基づき、2021年度から IPPCC5 次報告書 100年係数を使用（AR5）。2013-2020年度はAR4を使用。
4. CO₂以外の排出量計算は、温対法の算定ガイドラインに基づき、IPCC のイベントリー &（デフォルト）排出係数（IPCC1996 Tier2c 係数）を使用しています。
さらに、高電圧印加製造プロセスでの SF₆ 使用（独自イベントリー）の排出量も加算しています。
半導体のエッチング工程の排ガス除害装置の除外率はデフォルト値（90%、NF₃のみ95%）を使用しています。
ただし、製品への HFC 冷媒封入プロセス、SF₆ 絶縁ガス封入プロセスの各イベントリーでは、デフォルト排出係数ではなく、実測値を使用しています。

（注）当社では、算定方法、データの出典、計算過程、全社集計に関して、2017年度実績以降毎年、翌年度内に第三者検証を受審しています

2022 年度スコープ 1,2 国別内訳

単位：千 t-CO₂e, 電力係数単位：kg-CO₂e/kWh

国名	スコープ 1	スコープ 2	合計	電力係数
日本	133.000	118.960	251.960	0.4360
マレーシア	2.292	34.649	36.941	0.6510
中国	3.565	28.593	32.158	0.6143
フィリピン	0.058	8.907	8.964	0.7084
タイ	0.385	3.552	3.937	0.4718
シンガポール	0.000	0.283	0.283	0.3841

電力係数出典

国内：「電気事業低炭素社会協議会」における日本の平均電力係数

海外：IEA(2021)EMISSION FACTORS 国別の平均電力係数最新値

温室効果ガス排出量（スコープ3）推移

カテゴリー	内容	スコープ3 排出量 (千 t-CO ₂ e)						算定範囲と方法 ^{※1}
		2018	2019	2020	2021	2022	同比率	
上流	1 購入した製品・サービス	248	1,978	1,795	1,924	2,300	1.30%	Σ（すべての製品サービス購入額）×（産業連関表排出係数）
	2 資本財	124	138	103	170	241	0.14%	全社の投資設備の建設・製造に係わる排出量
	3 購入したエネルギーの調達（SC1, 2 以外）	30.8	52.9	52.9	50.6	50.9	0.03%	調達したすべての燃料や、電気エネルギーに係わる排出量
	4 輸送・配送（上流）	14.0	15.9	13.6	15.5	16.2	0.01%	国内：製品のすべての輸送に係わる排出量実績集計 海外：海外分は国内外売上比率から推計
	5 事業から出る廃棄物	5.39	6.49	5.93	7.16	6.46	0.00%	全生産拠点から排出される廃棄物の処理に係わる排出量
	6 出張	1.93	3.65	3.60	3.49	3.54	0.00%	全社の従業員の出張に係わる排出量実績
	7 通勤	8.23	13.8	13.7	13.4	13.7	0.01%	国内分：全拠点への通勤に係わる排出量実績 海外分：従業員比で推定
	8 リース材上流	0.00	5.83	5.67	4.99	4.98	0.00%	国内分：オフィス拠点（テナント）の実績集計値 海外分：オフィス部門の従業員比で推計
上流合計		433	2,215	1,993	2,190	2,637	1.49%	
下流	9 輸送・配送（下流）	×	×	×	×	×		製品輸送（カテゴリ4）先からの移動は僅少のため、算定外
	10 販売した製品（部品）の加工	×	×	×	×	×		下流で加工が必要な中間製品の販売がないため、算定外
	11 販売した製品の使用	4,111	122,066	54,453	177,383	173,930	98.51%	全製品の生涯排出量の80%以上を占める7製品群を対象に算定 計算式=Σ出荷台数×年間消費電力×寿命×CO ₂ 係数 部品の消費電力定義：自身が消費する電力（=損失電力）
	12 販売した製品の廃棄	×	×	×	×	×		当社製品は金属の割合が高くリサイクル時の排出は少ないと想定されるため、算定外
	13 リース材（下流）	0	0	0	0	0	0.00%	該当する排出はない
	14 フランチャイズ	0	0	0	0	0	0.00%	該当する排出はない
	15 投資	0	0	0	0	0	0.00%	該当する排出はない
合計		4,544	124,281	56,447	179,572	176,567	100%	

- ※1 2019年度からは算定方法を以下のとおり見直している。
- 算定に当たって用いた原単位データベースを以下の通り変更した
環境省：「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」Ver.2.0（2013.03）⇒Ver.3.0（2020.03）
カテゴリ3：エネルギー調達の原単位：「LCIデータベース IDEAv2（Ver.2.3）」に変更した
 - 一部国内分のみ集計していたが、すべてのカテゴリについて、海外分を推計して、全社集計とした。
 - カテゴリ8（リース材上流）：当社のオフィス部門はテナント（＝リース材）に入居しているため、オフィス部門の排出量をSC1,2から控除して計上した
 - カテゴリ11（製品使用時の排出）の算定基準を次の様に見直した。
算定範囲：当社全製品使用時排出量の80%以上の排出量をカバーする7製品群について算定した。

算定方法：当社製品の生涯排出量の種類別の算定方法

最終製品：出荷台数×年間総消費電力（燃料消費）×寿命×CO₂係数

中間製品：出荷台数×年間総損失電力（部品のエネルギーロス分）×寿命×CO₂係数

最終製品：火力発電（一括受注）、工業用電気炉、ショーケースなど：顧客が当社製品をそのまま利用する場合。

中間製品：タービン/発電機（単体受注）、パワー半導体、インバータ、モーター、変圧器など：顧客製品に当社製品を組み込んで利用する場合

- ・（カテゴリ 1～8, 11）の第三者検証を実施します(但し、排出量の検証は翌年度 2 月頃となります)

当社のサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量推移

単位：千 t-CO₂

	実績（年度）					%
	2018	2019	2020	2021	2022	
SC3（上流）	433	2,215	1,993	2,190	2,637	1.49%
SC1（直接排出）	274	220	202	155	139	0.08%
SC2（間接排出）	247	231	235	209	195	0.11%
上記合計	953	2,666	2,430	2,554	2,972	1.68%
SC3（下流）	4,111	122,066	54,453	177,383	173,930	98.32%
サプライチェーン 全体排出量	5,065	124,733	56,884	179,936	176,902	100%

注 1) 2019 年度：SC3-カテゴリ 1-8 の算定範囲を全社に拡大、カテゴリ 11 の算定範囲は全製品の排出量の少なくとも 80%以上を算定

排出量取引

排出量取引状況

単位：t-CO₂e

サイト（期間）	排出権の獲得	排出権の購入	排出権の償却	残高
東京都（東京工場） （2015～2020年度）	0 (0)	0 (0)	316 (407)	3,508 (3,824)
埼玉県（吹上工場） （2011～2020年度）	3,193 (3,615)	0 (0)	0 (0)	38,203 (35,010)
シンセン市 （2013～2021年）	0 (0)	0 (0)	649 (4,529)	4,533 (5,183)

() 内は前年報告値

排出量取引制度

地区	第三期削減期間	削減目標 (カッコ内は第二期)
東京都 東京工場	2020-2024年度	基準排出量比▲25% (▲15%)
埼玉県 吹上工場	2020-2024年度	基準排出量比▲20% (▲13%)
シンセン市	2021-2025年	原単位を毎年▲6.88% (▲6.39%/年)

再生可能エネルギーの取り組み

再生可能エネルギー利用量推移

単位：MWh

種別	実績（年度）				
	2018	2019	2020	2021	2022
再エネ電力証書の償却量					9,238
国内太陽光自家発電発電量	487	539	592	621	619
海外太陽光自家発電発電量	672	2,113	1,575	1,609	1,739
国内再エネ電力 ^{※1} 購入量					7,204
海外再エネ電力 ^{※1} 購入量	228	1,309	1,730	3,304	7,166
合計	1,386	3,962	3,897	5,533	25,967
再エネ利用量/電力使用量 ^{※2} 比率	0.3%	0.9%	0.9%	1.3%	6.2%
再エネ利用量/エネルギー使用量 ^{※3} 比率	0.1%	0.4%	0.4%	0.6%	2.6%

※1 再エネ電力：サイト内太陽光発電（PPA）やサイト外の再エネ発電およびグリーン電力

※2 電力使用量：合計全電力購入量+太陽光（自家発）発電量

※3 エネルギー使用量：合計全電力購入量+太陽光（自家発）発電量+燃料使用量

注）2022年度から、国内外で再エネ電力の購入や電力証書の償却を開始しました。

再生可能エネルギー発電事業の供給能力推移（FIT 売電）

単位：MWh

種別	実績（年度）				
	2018	2019	2020	2021	2022
風力発電	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628
太陽光発電	4,205	4,205	4,205	4,205	4,205
合計	6,833	6,833	6,833	6,833	6,833

再生可能電源出荷容量

単位：MW

種別	実績（年度）				
	2018	2019	2020	2021	2022
合計	590	488	422	181	377

再生可能電源供給による CO₂ 削減貢献量

単位：万 t-CO₂e

種別	実績（年度）				
	2018	2019	2020	2021	2022
合計	924	1,107	1,282	1,340	1,451 ^{※1}

※1 当社 2022 年度温室効果ガス排出量 33.4 万トンの 43.4 倍に相当します。

（注）CO₂ 削減貢献量：2009 年以降出荷した製品が 1 年間稼働した時の発電量を火力発電所の燃料節約分として CO₂ 換算

廃棄物発生量/埋立量推移

単位：t

地域	発生/ 埋立	種別	実績（年度）					目標
			2018	2019	2020	2021	2022	2022 年度
国内	発生量	汚泥	1,268	1,667	1,778	2,188	2,453	
		廃油	1,198	1,309	1,105	1,477	1,384	
		廃酸・アルカリ	1,672	1,523	1,305	1,183	1,486	
		廃プラスチック	2,051	1,951	1,699	1,812	1,868	
		紙くず木くず	4,364	4,157	3,561	3,699	3,610	
		金属くず	12,039	12,097	9,996	10,836	12,024	
		その他	226	275	284	334	247	
	合計	22,819	22,979	19,728	21,529	23,073		
	埋立量		145	115	122	24	29	
		埋立処分率	0.6%	0.5%	0.6%	0.1%	0.1%	0.5%
海外	発生量	汚泥	1,719	1,976	2,051	1,360	1,226	
		廃油	287	250	323	442	316	
		廃酸・アルカリ	3,720	2,689	1,394	102	196	
		廃プラスチック	317	272	335	747	232	
		紙くず木くず	270	255	324	284	449	
		金属くず	4,235	3,716	3,235	5,510	4,458	
		その他	211	250	192	112	198	
	合計	10,759	9,408	7,856	8,558	7,077		
	埋立量		399	229	367	654	122	
		埋立処分率	3.7%	2.4%	4.7%	7.6%	1.7%	2.4%
国内 海外 合計	発生量	汚泥	2,987	3,643	3,829	3,548	3,679	
		廃油	1,485	1,559	1,428	1,919	1,701	
		廃酸・アルカリ	5,392	4,212	2,699	1,285	1,683	
		廃プラスチック	2,368	2,224	2,034	2,559	2,101	
		紙くず木くず	4,634	4,412	3,885	3,983	4,059	
		金属くず	16,274	15,813	13,232	16,346	16,482	
		その他	437	525	476	447	445	
	合計	33,578	32,387	27,584	30,087	30,150		
	埋立量		543	345	489	678	151	
		埋立処分率	1.6%	1.1%	1.8%	2.3%	0.5%	(1.2%)

※ 発生量：生産活動に伴って発生する不要物（産業廃棄物+一般廃棄物+有価売却くず）

※ 埋立処分率：埋立量/発生量

※ 2021年度は、海外でフッ素スラッジのセメントリサイクルが困難になり、埋立量が増加した。

1. 集計範囲：国内海外全生産拠点

2. カバレッジの変更：2021年度、2022年度に一時的にインドとフランス拠点集計を除外した

理由：集計データの客観性や網羅性の確認に問題があると判断しました。2023年度集計開始しました。

ハザード廃棄物/非ハザード廃棄物内訳

単位：t

種別	指標	実績				
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ハザード廃棄物 Hazard waste	排出量	9,864	9,415	7,957	6,754	7,084
	リサイクル量	8,370	8,707	6,774	5,340	5,887
	内サーマルリサイクル量*	-	-	-	-	156
	同 リサイクル率	85%	92%	85%	79%	83%
	埋立量	175	83	288	564	33
	同 埋立率	1.8%	0.9%	3.6%	8.3%	0.5%
非ハザード廃棄物 non-Hazard waste	排出量	23,714	22,972	19,627	23,332	23,066
	リサイクル量	22,854	21,993	18,988	22,862	22,372
	内サーマルリサイクル量*	-	-	-	-	2,612
	同 リサイクル率	96%	96%	97%	98%	97%
	埋立量	368	262	201	114	118
	同 埋立率	1.6%	1.1%	1.0%	0.5%	0.5%
総廃棄物	排出量	33,578	32,387	27,584	30,087	30,150
	リサイクル量	31,224	30,700	25,762	28,202	28,259
	内サーマルリサイクル量*	-	-	-	-	2,769
	同 リサイクル率	93%	95%	93%	94%	94%
	埋立量	543	345	489	678	151
	同 埋立率	1.6%	1.1%	1.8%	2.3%	0.5%

※ 2022年度は、リサイクル量について、サーマルリサイクルとサーマル以外のリサイクルで分離して集計を開始した
 (注) ハザード廃棄物：日本の廃棄物処理法は、有料で排出するすべての産業廃棄物について、排出者責任(マニフェストの発行や最終処分までの責任)を課しており、ハザード廃棄物/非ハザード廃棄物の区別はない。
 当社は、ハザード廃棄物を有害廃棄物ととらえ、廃棄物種別として、廃油、廃酸・廃アルカリ、有機・無機スラッジ、使用済活性炭で再集計した。

水資源

水投入量推移

単位：千 m³

種別		実績（年度）				
		2018	2019	2020	2021	2022
国内	上水購入量	591	925	1,100	990	984
	工水購入量	2,836	2,749	2,766	2,589	2,605
	合計購入量	3,427	3,674	3,866	3,579	3,589
	地下水取水量	4,077	3,962	3,894	3,900	4,055
	国内水投入量	7,503	7,636	7,760	7,479	7,645
海外	工水購入量	5,974	5,762	5,575	2,272	1,740
	地下水取水量	0	0	1	0	0
	海外水投入量	5,974	5,762	5,576	2,272	1,740
合計	合計投入量	13,478	13,398	13,336	9,751	9,385

1. 上水：飲用可能な水道水、工水：工業用水（飲用不可）
2. 地下水取水量：生産に寄与する取水量。以下を除く（土壌浄化井戸汲上量、農業用水提供、融雪用水）
3. 国内水投入量 = 上水購入量 + 工水購入量 + 地下水取水量
4. 集計範囲：国内海外全生産拠点
5. カバレッジの変更：2021年度、2022年度に一時的にインドとフランス拠点集計を除外した
理由：集計データの客観性や網羅性の確認に問題があると判断しました。2023年度実績集計を開始しました。

水リサイクル量推移

単位：千 m³

		実績（年度）				
		2018	2019	2020	2021	2022
国内	リサイクル量	1,055	1,940	2,087	2,303	2,347
	リサイクル率	12.3%	20.3%	21.2%	23.5%	23.5%
海外	リサイクル量	822	725	917	258	106
	リサイクル率	12.1%	11.2%	14.1%	10.2%	5.7%
合計	リサイクル量	1,877	2,665	3,004	2,561	2,453
	リサイクル率	12.2%	16.6%	18.4%	20.8%	20.7%

リサイクル率の定義：リサイクル量/使用量（=投入量+リサイクル量）

排水量内訳量推移

単位：千 m³

種別		実績（年度）				
		2018	2019	2020	2021	2022
国内	下水道等排水量	1,233	1,170	1,166	1,278	1,483
	河川等排水量	6,270	6,466	6,593	6,201	6,162
	合計排水量	7,503	7,636	7,760	7,479	7,645
海外	下水道等排水量	568	520	510	499	486
	河川等排水量	5,406	5,242	5,066	1,772	1,254
	合計排水量	5,974	5,762	5,576	2,272	1,740
合計	下水道等排水量	1,801	1,690	1,676	1,778	1,969
	河川等排水量	11,676	11,708	11,660	7,973	7,416
	合計排水量	13,478	13,398	13,336	9,751	9,385

注) 下水道等には、工業団地の集中排水処理施設への排水を含みます。河川等には、海域への直接排水や地下浸透排水および工場内での蒸散量を含みます。ただし、工場内雨水の排水量は含みません。

PRTR 対象物質 取扱量/排出量推移

単位：t

		実績					2022年度 目標
		2018	2019	2020	2021	2022	
国内	取扱量	824.2	782.1	723.6	683.4	646.9	
	排出量	152.9	143.6	169.7	189.7	210.0	165
海外	取扱量	1,912.7	1,516.5	939.4	525.5	437.5	
	排出量	936.4	755.3	478.6	305.5	304.5	1,340
合計	取扱量	2,737.0	2,298.6	1,663.0	1,208.9	1,084.4	
	排出量	1,089.3	898.9	648.3	495.2	514.5	1,505

VOC 取扱量/排出量推移

単位：t

		実績（年度）					2022年度 目標
		2018	2019	2020	2021	2022	
国内	取扱量	617.4	565.4	597.5	699.1	787.9	
	排出量	233.5	257.0	260.8	269.1	297.7	214
海外	取扱量	1,205.3	922.1	650.1	494.5	491.4	
	排出量	1,023.2	826.0	557.8	348.3	327.5	1,480
合計	取扱量	1,822.7	1,487.5	1,247.6	1,193.6	1,279.3	
	排出量	1,256.7	1,083.0	818.6	617.4	625.2	1,694